

爆笑 年忘れ演芸会



陽だまり



平成31年1月
- 第37号 -

発行者
特別養護老人ホーム
シヤリテさわら
広報編集委員会

12月19日、年の瀬も近づくこの日に『年忘れ演芸会』が開催されました。前年はインフルエンザの流行などもあり開催できませんでした。今年は無事開催することができました。

この日のオープニングは、デイサービス職員による美空ひばりの「お祭りマンボ」に乗せて、手作りのバチで息ピッタリにリズムを刻んでくれました。終了後には盛大な拍手も頂いておりました。続いて登場したのは「よさこい」。先程のお祭りマンボのように息ぴったりとはいきませんでした。軽快な音楽に合わせてダイナミックな踊りを披露してくれました。次に登場したのは2人の男性職員による「腹踊り」。彼らのお腹にはなんと面妖なる顔が!? 登場から笑い声が会場のいたるところから聞こえ、更に会場内を二人がねり歩いてる最中に飛び入り参加したもう一人の職員のお腹には「シヤンシヤン」も顔負けの可愛らしいパンダ顔にご利用者様は大喜び。3人の職員がねり歩く姿を見て笑い声が更に大きくなりました。最後のトリを飾ったのは『水戸黄門』の悪代官の正体は如何に?。悪代官とその仲間の越後屋の悪代官の正体は助さんと格さんであり、癖もある町娘たちの正体は助さんと格さんであり、黄門様も登場し無事悪代官たちを懲らしめることに成功。利用者さんたちの笑い声が絶えないうま大団円となりました。

踊りに寸劇と、この日は大変賑やかな1日となりました。シヤリテの芸達者な職員たち。次回は何を披露してくれるのでしょうか? 今から楽しみです!

新春のお慶びを申し上げます！

施設長 輪島 忠徳

新年あけましておめでとうございませう。日頃より当法人の運営にご理解とご協力を賜り心より厚く感謝とお礼を申し上げます。さて、昨年の4月1日には待望の「地域密着型特別養護老人ホーム シャリテの森」がオープンしました。ご承知のとおり、介護スタッフ等の充足が出来なかったことにより、「シャリテの森」は1階部分のみでのスタート(特養9床、ショートステイ10床)となつたところであります。当法人としましては、2階部分(特養11床)のフル稼働を目指して介護スタッフ等の確保に向けて、引き続き全力で意を注いで参りたいと思っております。限界が、毎回のようにはお願いして恐縮しておりますが、入居様のご家族の皆さんをはじめ、関係機関・団体など地域の皆さんから職員募集に際しての情報提供・ご紹介・PRなどのお力添えを切にお願いしているところでございます。介護スタッフ等の人材(人手)不足は当法人ばかりの問題ではなく、介護業界全般の難課題となっております。この人材(人手)不足の主な原因として新聞などのマスコミでも取り上げられておりますが、出典…東洋経済新聞社(会社四季報 業界地図)2018年版)によれば、日本のあらゆる産業を63に分類してその待遇(年収)をランキングしたところ、介護職が最下位となつて待るといふデータが公表されております。国ではこうした状況を踏まえて、介護人材の確保対策として今年10月に引き上げた法定最低賃金を打ち出して、介護職の待遇改善に充てるという大幅な待遇改善策がイメージされていると見られます。目安として、63業界の平均賃金がイメージされておられ、介護業界全体においてその政策の実現化が図られるよう期待が寄せられておられると見られます。話は変わりますが、今年の「千支」は「亥イノシシ」です。イノシシで思い浮かぶ言葉といえば、「猪突猛進」です。色々な意味で例えられておりますが、良く解釈すると「目標・信念に向かって、突進していく」という事になり、当法人にまつては、「介護スタッフ等の雇用情勢を含めて厳しい環境下にあるにもかかわらず、「亥イノシシ」のように勢いのある年にしていきたいものです。

新年早々、私ども介護業界の置かれておられる堅苦しい話をさせていただきます。ただ、私どもも本年も入所・入居様やご利用者様が穏やかに日々過ごされるよう、職員一同連携を密にしたサービスを提供したいと思っております。新年のご挨拶とさせていただきます。

研修実施報告

私たち研修委員会は、職員のスキルアップや技術(ケア)を平準化させるため、年間研修計画を立案し、月1回の内部研修を行っています。内容は介護技術、待遇の他、必要に応じて外部講師を招き研修を行っています。

今年は10月に南北海道ヤクルト販売(株)様を招いて乳酸菌の働きについて、11月には全国でご活躍されている田中義行氏を講師に招いて基本的介護技術について研修を行いました。



知っていますか? 咳エチケット

咳・くしゃみでウイルスが飛ぶ距離を皆さんご存知ですか。咳1回で2m、くしゃみ1回で3mの範囲でウイルスが約10万個飛ぶとも言われています。

ウイルスを拡散させない為にも、3つの咳エチケットを紹介しますので、ぜひ実践してみてください!



① マスクの着用

•鼻から顎までをおおい隙間がないようにつけましょう。



② ティッシュやハンカチで口・鼻をおおう

•咳・くしゃみをおさえた手、鼻をかんだ手は直ちに手洗いを!



③ とっさのときは「肘ブロック」で

•上着の内側や袖でおおう。

シヤリテ写真館

10月6日 北海道メンタル評議会「微助軍団」の皆様



10月20日 子供イベントサークル「ハッピー」の皆様



10月22日 砂原中学校の皆様



12月5日 餅つき大会



北海道胆振東部地震

9月6日の未明に北海道胆振東部地震が発生しました。当施設は利用者様・職員ともにケガなどもなく、建物や備品等にも被害はありませんでした。

しかし道内全域で起こったブラックアウトに当施設も見舞われましたが、発生直後から自家発電機を稼働させ、必要最低限の電気が確保されたことにより、暖房・水道は使用することができました。幸いにも地震発生した当日の21時頃に電気が復旧しました。

今までは火災や地震などのマニュアルはありましたが、長時間の停電発生時の詳しい対策マニュアルはありませんでした。今回の地震や停電が起こった経験を基に、防災マニュアルや事業継続計画を見直しております。

新人紹介



看護職員
遠藤 めぐ美

9月よりデイサービスで勤務させて頂いておりますが、福祉の現場は初めてで戸惑う事が多いですが、先輩方のご指導をいただき、一日も早く戦力になれるよう、日々精進して参りますので、よろしくお願い致します。



事務員
藤田 ゆかり

11月に入社いたしました。介護関係の仕事に就くのは初めてで、日々勉強させていただいております。日々1日でも早く戦力として仕事が出来るようになります。よろしくお願いします。

編集後記

「陽だまり」の作成を前任者から引き継いでから今回で2回目の発行になります。

まだまだ慣れないところが多く、作るのに四苦八苦していますが、前任者が作ってきた「陽だまり」に負けないように工夫してこれからも作成していきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い致します。(T.H)

1月現在の待機者状況

今回より当施設の待機者人数を掲載します。入所申込については随時受け付けておりますので担当者までにお問い合わせください。

居場所	自宅	病院	他施設	合計
人数	36人	27人	36人	99人
(うち要介護3以上)	17人	26人	29人	72人
担当者	小野生活課長、諏藤・角野相談員			

電話番号：(代) 01374-8-4111

FAX：01374-8-4100